

切磋琢磨



令和2年3月26日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町 1073-1
TEL (0573) 25-5261

恵那東中「黄金期～第2章～」へ

校長 伊藤 勝彦

新型コロナウイルス感染症の影響で3月2日から臨時休業になっていました。その間、各家庭ではアップされたホームページの学習ガイダンス「家庭学習のすゝめ」を参考に計画的な学習が行われたものと思います。家庭での保護者の皆様方のご理解とご協力を得て、無事令和元年度の恵那東中学校の教育課程を、本日をもって修了することとします。生徒には、修了証を通知表と共に担任から一人一人に渡しました。臨時休業中の未履修の学習内容については、新年度になってから確実に学習が行われるよう年間計画に入れていますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

平成から令和に変わった今年度、恵那東中学校は大いに飛躍した一年となりました。質の高い日常生活を基盤に、様々な活動を生徒の自治的な動きによって展開することができました。これらの活動を通して、生徒は、よりよいものを求めて、課題に気づき、仲間と力を合わせて解決していく営みをしてきました。予測困難なこれからの社会に通用する課題解決力を身に付けてきました。2/21に行われた「絆の日」の集会で、一年間で身に付けてきた力、さらには深まった仲間との関係を誇れる事実をもとにして発表しました。そして、一年間の総仕上げ、最終段階である第8ステージ『継』で、本年度築き上げてきた財産をもとに、来年度の準備をする予定でした。残念ながら、その準備ができませんでしたが、臨時休業がなければ、おそらくすばらしい第8ステージが展開されたことと思います。教室のロッカーや更衣室、さらには下足箱が美しく整えられるのをはじめ、当たり前である日常生活の質を高めようと東中の生徒一人一人が意識して生活する姿。東中の3本柱「挨拶・合唱・無言清掃」の質を高めようとこだわって生活する姿。そして、「授業」を4つめの柱にするために、授業評価をオール5にしようとする真剣に取り組む姿。そんな姿が至るところで見られる第8ステージになっていたのではないかと思います。加えて、1年生は、4月入学してくる新1年生に対して、質の高い授業を見せるだけでなく、恵那東中学校の学習や生活についてわかりやすく丁寧に説明する姿が見られたと思います。一方、2年生は心構え集会を機に、東中の最高学年「顔」として、一段とたくましくなって新年度を迎えようとする姿が見られたのではないかと思います。

そんな中、令和2年度前期生徒会役員のみなさんが、いち早く新年度の生徒会活動をより円滑に進めるため、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、研修会を行いました。令和2年度の恵那東中学校の“あるべき姿”やその姿に迫るための方法等について熱心に話し合いがなされました。「日常生活の当たりの質を高めたい」「よりよいものをめざしたい」「キャンペーンだけでなく、キャンペーンがない時でも活動にこだわりたい」「東中スタンダードを創り出したい」「呼応の関係を強くしたい」など、いずれも今年度よりもよい質の高いものをめざしたい、という思いが共有化されていました。「よりよいものをめざす」「より質の高いものをめざす」、これらの精神が恵那東中学校の校風として確実に築かれる令和2年度になることを確信しました。恵那東中学校の「黄金期～第2章～」が始まると思っています。令和2年度も東中の生徒たちへの温かなご声援をよろしくお願いします。

